

基礎教育科目〔全学共通〕

授業科目区分	授業科目名	ナンバリング	科目種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. 科目の目指す5つの目標：5つの基礎力と本学のDPで目指す能力等					備考
							①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現	
							①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現	
TIUコア科目	大学生生活デザイン演習	G-SEM101	演習	2	多様な他者との関わりを通じて、コミュニケーション能力を高め、自分の大学生活をデザインする	大学生活について理解し、さまざまな人のなかで自分の意見を伝えたり、主体的に行動ができる	○	○	◎	◎	◎	
	初年次演習	G-SEM101	演習	2+2	大学での学びの基本を理解し、社会や世界を理解するための基礎力を磨き、仲間を作る	学修スキルと主体的学びの修得、進路・キャリアの理解、責任ある社会人の基礎養成ができる	○	◎	○	○	◎	
	ICT基礎	G-INF101	実習	2	パソコンの基本操作と情報セキュリティについて理解する	レポートの作成やプレゼンテーションに役立つ基本ソフトの操作を習得し、情報セキュリティ能力を身につける	◎	○	◎	○	◎	
人間と文化	哲学	G-OHM111	講義	4	世界と自分のあり方について考え、政治や経済のもととなる考え方を知る	人間が世界のなかで存在するというこの基本となる考え方が理解できる	◎	○	○	○	○	
	倫理学	G-OHM121	講義	4	善悪や不正など社会の仕組みと人のあり方について理解する	実際に社会で出会うさまざまな倫理的な問題に対処できるような基本的な考え方を習得する	◎	◎	○	○	○	
	芸術論	G-OHM104	講義	4	社会における芸術について理解し、生活に活かせる芸術の基礎を学ぶ	美術や音楽の体験を通じて、現代社会において芸術がもつ力を理解する	◎	○	◎	○	○	
	文学	G-LIT101	講義	4	文学や映画等を通じて、芸術としての物語のあり方を理解する	文学作品や映像作品を読み解く能力を身につける	◎	◎	○	○	○	
	ことば学入門	G-LNG101	講義	4	人間の思考や文化を形成することばや文字について理解を深める	ことばを客観的に説明することができるようになり、メディアリテラシーの基礎を身につける	◎	◎	○	○	○	
	アジア・アラブ史	G-OHM101	講義	4	アジアとアラブの文化や歴史について理解を深める	アジアの歴史を地域のものとしてではなく世界的な規模のものとして再構築できる	◎	○	○	○	○	
	アメリカ・ヨーロッパ史	G-OHM102	講義	4	アメリカとヨーロッパの文化や歴史について理解を深める	欧米の歴史を流れとして理解し、現代の社会を流れに位置づけることができる	◎	○	○	○	○	
	日本史	G-OHM114	講義	4	日本の歴史について、幕末以降の近代史を中心として理解を深める	日本の歩んできた道を近代の諸国との関係のなかで理解する	◎	○	○	○	○	
	地理学概論	G-OHM110	講義	4	自然地理学と人文地理学の両方の観点から、地域について理解を深める	地域固有の自然環境や文化、経済などを総合的に捉えることができる	◎	○	○	○	○	
	人文地理学	G-OHM108	講義	4	人口や村落、文化や民族、環境などの問題について理解を深める	地域によって異なる生活様式を人口変動や文化等から捉えることができる	◎	○	○	○	○	
	日本の文化	G-OHM117	講義	4	日本文化を支える日本語について理解を深めることで、文化を捉え直す	日本におけるさまざまな文化に対する理解を深めることができる	◎	○	○	○	○	
	異文化概論	G-OHM103	講義	4	異文化理解の基礎を学びながら、自分たちの文化への理解も深める	異文化に対する多角的視野や積極的態度を身につける	◎	○	○	○	○	
	文化人類学	G-OHM118	講義	4	人間の生活を可能にする多様な文化的・社会的なしくみを理解する	現代世界の多様な人間現象や異文化に対する視点を身につける	◎	○	○	○	○	
	Introduction to American Society	G-SOC101	講義	4	To study American culture and society by analyzing traditional and contemporary American values	To demonstrate the knowledge learned through active learning in an individual or group presentation	◎	◎	○	○	○	
	Life & Tradition in America	G-SOC102	講義	4	To gain basic knowledge of American lifestyle and traditions	To become familiar with American lifestyles and traditions through cooperative learning (four-skill activities)	◎	◎	○	○	○	
	現代社会	法学	G-LAW103	講義	4	社会で役立てるための法学に関する基礎的な知識を修得し、批判的考察の習慣を身につける	社会で起る様々な法律問題をとりあげ、こうしたトラブルに直面した際の解決方法を考えられる	○	○	◎	○	○
憲法		G-LAW101	講義	4	憲法のしくみを理解し、国家／国民とは何かのテーマを追求することで日本国民としての自覚を持つ	具体的な事件・事例に触れて考察することにより、自分たちの国の憲法をより深く理解できる	○	◎	○	○	○	
政治学		G-POL101	講義	4	様々な異なる政治現象をとりあげながら、その背後に潜む普遍性・一般理念を追求する	個人と社会の間の政治現象の諸形態を理解し、自分がそれに対していかに主体的に参加できるかを認識する	○	◎	○	○	○	
経済学		G-ECN101	講義	4	経済学の基礎となるミクロ経済学とマクロ経済学について学ぶ	経済行動や経済政策について理解を深め、自分がどのように経済と関係しているかを認識する	○	◎	○	○	○	
社会学		G-SOC106	講義	4	社会学の基本的な歴史と概念を学ぶ	社会学の概念を用いて、自分たちの社会を認識することができる	○	◎	○	○	○	
現代の社会		G-SOC104	講義	4	現代社会を分析するための方法とスキルを学ぶ	さまざまな問題を抱える現代社会において、自分が社会とどのように関連しているのかを認識する	◎	○	○	○	○	
心理学概論		G-PSY103	講義	4	心理学のさまざまな分野における基本的な概念と流れを学ぶ	心理学の基本的用語について正確な知識を得て、日常の体験を心理学の理論に基づいて捉え直すことができる	◎	○	○	○	○	
自然科学と環境	自然科学概論	G-SCI103	講義	4	自然科学の基礎となる物理的な現象について理解する	音や光、エネルギーなどの科学的知識を理解することができる	○	◎	○	○	○	
	環境と自然	G-SCI102	講義	4	現代社会における生活環境上の問題を理解する	薬物や温暖化など環境の問題がいかに自分たちの生活と関わっているのかが理解できる	◎	○	○	○	○	
	科学思想史	G-SCI101	講義	4	社会の発展を支えてきた科学技術とその背景となる科学思想について理解する	科学の発展を歴史的流れの中から捉え直すことができる	○	◎	○	○	○	
	統計学入門	G-SCI106	講義	4	統計学における基礎的なスキルを習得することができる	データの見方やまとめ方を学び、基礎的な統計処理ができる	○	◎	○	○	○	
健康とスポーツ	情報処理の基礎	G-INF102	講義	4	コンピュータのハードウェアやソフトウェアの基本的な理論を理解する	コンピュータが動作する基本的な原理を理解し、情報処理の可能性について認識する	◎	○	○	○	○	
	健康・スポーツ科学	G-HES101	講義	4	健康科学やスポーツ科学の基本的な理論を理解する	健康やスポーツに関する正しい理解を身につけ、日常生活で実践することができる	◎	○	◎	○	○	
	健康・スポーツ実技	G-SPE101	実習	1	スポーツの競技を実践し、その基礎となる理論を理解する	各競技の基本的な理論を理解し、他者との試合などを正しく実践することができる	○	○	◎	◎	◎	

その他の 外国語	スペイン語入門	L-SPN101	実習	2	スペイン語の文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初歩の文法を理解する	スペイン語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎	
	実践スペイン語	L-SPN102	実習	2	基礎的なスペイン語のコミュニケーション能力を修得する。	初歩的なスペイン語を話し、読み、書くことができる			○	○	◎	
	中国語入門	L-CHN101	実習	2	中国語の文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初歩の文法を理解する	中国語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎	
	実践中国語	L-CHN102	実習	2	基礎的な中国語のコミュニケーション能力を修得する。	初歩的な中国語を話し、読み、書くことができる			○	○	◎	
	ハングル入門	L-KRE101	実習	2	ハンガルの文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初歩の文法を理解する	ハンガルの基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎	
	実践ハングル	L-KRE102	実習	2	基礎的なハンガルのコミュニケーション能力を修得する。	初歩的なハンガルの話し、読み、書くことができる			○	○	◎	
	ロシア語入門	L-RSA101	実習	2	ロシア語の文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初歩の文法を理解する	ロシア語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎	
	アラビア語入門	L-ARB101	実習	2	アラビア語の文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初歩の文法を理解する	アラビア語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎	

※ 言語科目は学部（一部学科）により科目が指定されているため備考欄に注記をいれてあります。
(注1) グローバル・コースに登録した学生のみ履修することができる

基礎教育科目〔全学共通〕

～つづき～

授業科目区分	授業科目名	ナパリンク	科目種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. 科目の目指す5つの目標: 5つの基礎力と大学のDPで目指す能力等				
							①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現
言語スキル科目 留学生日本語	アカデミック日本語I	L-JPN121	実習	2	読み書き能力の増強を中心とした学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	幅広い知識・教養、基礎的学修力・理解力	思考力・判断力、課題の発見・分析・解決力	汎用的能力向上、社会への関心、意欲の向上	自主性・積極性・やりぬく力、自己規律の修得	社会人能力：コミュニケーション、チームワーク等
	アカデミック日本語II	L-JPN202	実習	2	読み書き能力の増強を中心とした学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	教科書に加え、新書や新聞などの論説文・報告文なども使用し、各自の専門学習の基礎となる語彙表現を習得および専門分野の文章作成を目指す。	◎	○	○	◎	○
	日本語ワークショップI	L-JPN122	実習	2	表現力・コミュニケーション力の増強を中心とした多角的な学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	グループワークの中で、大学生として必要な総合的な日本語の理解力(読解力・聴解力)および表現力(発表力・作文力)の向上を目指す。	○	◎	○	◎	◎
	日本語ワークショップII	L-JPN203	実習	2	表現力・コミュニケーション力の増強を中心とした多角的な学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	「ワークショップ」形式で、ピア学習を重視し、日本語の4技能(話す・聞く・書く・読む)およびコミュニケーション力を磨くことで主体的学習力・協同作業力・思考力などの増強を目指す。	○	◎	○	◎	◎
	ビジネス日本語	L-JPN301	実習	2	日本での就職に必要な日本語力を総合的に修得する。講義形式授業を行った後、学生はペアやグループで実践練習を行い、発表をする。	日本での就職に必要な日本語力および入社以降のビジネスシーンで約にたつような実践的日本語の日本での就職に必要な総合的な日本語コミュニケーション力を目指す。	○	○	○	◎	◎
キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	C-ISP101	実習	2	インターンシップ実習で企業や行政機関・NPOなどにおいて、自らのキャリアに関連した就業体験を行うための事前学修を実施する。	社会人マナー、コミュニケーション・プレゼンテーション能力向上、エントリーシート作成、ビジネス文書の作成などができるようになる。		○	◎		◎
	インターンシップ(体験型) (注2)	C-ISP201	実習	1	比較的短期のインターンシップに参加し、企業体験を通じて就職活動への理解を深め、その体験を学業に生かす。	企業で働くとはどういうことか、その企業はどんなところか、業界や業種の仕事はどんなものかなど、具体的に職業を知ることができる。			◎		◎
	インターンシップ(実践学修型) (注3)	C-ISP202*4, 207	実習	3	実践的な就業体験(例えばプロジェクト型の業務)を通じ、社員と業務を行うことで、社会人としての様々な能力養成を目指す。	自己の職業適性や将来設計を考え、主体的な職業選択や高い職業意識を育成し、暗黙知から学修する能力を身に付ける。			◎		◎
	ボランティア活動	C-VLT102	実習	1	ボランティア・社会的活動を通じ、コミュニケーション能力向上、社会の在り方の理解の深化等により、自らの学びを高めていく。	社会の仕組みや社会の課題を理解・分析し、課題解決力高め、コミュニケーション・チームワーク・リーダーシップ等のスキルを実践的に修得する。		○	◎		◎
	アカデミック・ライティング	C-LNG101	実習	2	学術的・専門的な内容の英語文章を組み立て、適切な英語表現を用いて、外国人が適切に理解できる英語を記述するための学習を行う。	英語及び日本語の文法・資料・データ等を参照し活用し、適切な英語を用いた専門的な文章を組み立て、適切な英語表現で英文を書くことができる。		◎	○		◎
	キャリア・Re-スタート	C-SEM201	実習	2	「他者との関わりを通してコミュニケーション力を高め、東京国際大学での大学生活をどう過ごすかを考える。自分の行動計画を立て、やるべきことを明確にする。	①積極的に自分の意見を伝えられる、②集団での自分の役割を理解し行動できる、③大学でできることを知る、④大学生活の行動計画を立てられる。				◎	◎
	地域の安全と警察	C-ORE215	講義	2	犯罪や事故などの危険から個人や社会を守るための行政政策について、警察行政を中心としながら、安全な公共空間設計行政などを学ぶ。	警察の現状と職務を理解し、社会の安全と安心を守る行政の役割を理解する。また、就職活動に必要な知識の習得、目的意識を明確化できる。	○	○	◎		
観光まちおこしワークショップ	観光まちおこしワークショップ入門	G-PBL104	PBL	2	地域活性化に必要な「観光を活用したまちおこしの基本」をフィールドワークやグループワークを通じて学修する。	1. 観光まちおこしの基本を理解、2. 川越の地域特性、歴史、観光資源を理解、3. 川越の課題を発見、4. 成果発表でチームワーク力を身につける。	○	○		◎	◎
	観光まちおこしワークショップ実践A	G-PBL101	PBL	2	大学・地域が一体となり、「まちおこし」を実施する上で重要となる知識・スキルをプロジェクト形式で学修する。	1. 地域の課題を把握し、2. まちおこしや地域活性化の方策を考え、3. アイデアを形にする力を養い、4. ホスピタリティマインドをもつ。		○	○	◎	◎
	観光まちおこしワークショップ実践B	G-PBL102	PBL	2	川越の魅力を見直し、外国人観光客へPRすることを体験するプロジェクト型授業で、情報発信の方法を学ぶ。	1. 川越の魅力・地元産品の特徴を効果的に発信、2. 外国人観光客のニーズを満たすリーフレット等をチームで制作できる、3. 外国人の視点をもとに制作物を完成させる。		○	○	◎	◎
	観光まちおこしワークショップ実践C	G-PBL103	PBL	2	「小江戸かわごえまちおこし」の企画立案を行い、課題解決思考能力及びコミュニケーション・ファシリテーションスキルをもつグローバル人材の育成を目指す。	1. 「小江戸まちおこし」の立案・提案能力、2. 地域の課題抽出と課題解決の思考能力、3. コミュニケーションやチームビルディングのスキルを習得。		○	○	◎	◎
	観光まちおこしプロジェクトA	G-PBL201	PBL	1	「大学生観光まちづくりコンテスト」に参加し、実践的な課題発見力、チームワーク力、プレゼンテーション力を修得する。	次の3能力を養う。(1)全国観光地の課題を発見、(2)課題解決のアイデアを協働学修で具体化、(3)それを提案書にまとめプレゼンを行う。				◎	◎
	観光まちおこしプロジェクトB	G-PBL202	PBL	1	実際の企業や組織・団体と連携し、川越市の観光課題を発見する力を養い、体験プロジェクトを通じて社会人の経験を積む。	次の3能力を養う。(1)川越市の地域活性化策を企業・組織・団体と作成、(2)川越市の魅力発信PR動画作成、(3)観光客向けガイドブック作成等企業と連携実施する。		○	◎	◎	◎

自由選択科目

プロジェクト科目

観光まちおこしプロジェクトC	G-PBL203	PBL	1	観光をテーマに企業や自治体と連携し、実践的なまちづくり、地域づくりをプロジェクト形式で行う。	次の3能力を養う。(1)観光による地域づくりを実践する。(2)自分の意見を述べ議論する。(3)社会人基礎力を修得する。			○	◎	◎	◎	
留学プランニング (ASP Prep)	G-0AR105	実習	1	姉妹校 Willamette University の実施するASP参加希望者に、留学からの学修効果を高めるための準備を行う。	留学での学習・課外活動に取り組むとき的心情、学修方法、コミュニケーション・チームワークスキル等を修得できる。				◎	○	◎	
海外ゼミナールA	G-0AR201	PBL	4	現地の語学学習では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を総合的に強化し、現地のフィールドトリップや地元住民との交流により、その国の文化、歴史、国民性などを深く知る。	外国語での実践的なコミュニケーション能力を高め、現地の文化・歴史・社会・政治等の価値事情に関する生きた知識を獲得し、相手国の総合的な理解を深める。	○			◎	○	◎	
海外ゼミナールB	G-0AR202	実習	2	現地の語学学習では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を総合的に強化し、教室外での活動を通じ、その国の文化、歴史、国民性などに触れる。	外国語での実践的なコミュニケーション能力を高め、現地の文化・歴史・社会等の生きた知識を獲得し、相手国の総合的な理解に繋げる。	○			◎	○	◎	
特別授業A	G-0AR205	講義	2	海外の専門家が各自の専門分野のテーマに関して多様な角度から講義を行い、受講生の視野を広げ、思考力を高める。特別授業Aは、15回相当の授業である。	外国人教員からの指導を受け、グローバルなコミュニケーション能力を磨き、多角的な思考力・判断力を身につけ、自分の意見をまとめて発信できる。	○		◎	○			
特別授業B	G-0AR206	講義	4	海外の専門家が各自の専門分野のテーマに関して多様な角度から講義を行い、受講生の視野を広げ、思考力を高める。特別授業Bは、30回相当の授業である。	外国人教員からの指導を受け、グローバルなコミュニケーション能力を磨き、多角的な思考力・判断力を身につけ、自分の意見をまとめて発信できる。	◎		◎	○		○	
特別実習 I A	G-0AR103	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。			○		◎	○	
特別実習 I B	G-0AR104	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。			○		◎	◎	○
特別実習 II A	G-0AR203	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。			○		◎	◎	○
特別実習 II B	G-0AR204	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。			○		◎	◎	○
特別実習 III A	G-0AR301	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。				◎		◎	◎
特別実習 III B	G-0AR302	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。				◎		◎	◎
特別実習 IV A	G-0AR401	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。				◎		◎	◎
特別実習 IV B	G-0AR402	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。				◎		◎	◎
基礎科目特殊講義A	G-0AR101		2	特別な目的で、基礎科目分野での特別な授業を行った場合に単位化するための授業科目。15回相当分の科目。	授業の到達目標と達成を目指す能力等については、科目を開設することに案内する。							
基礎科目特殊講義B	G-0AR102		4	特別な目的で、基礎科目分野での特別な授業を行った場合に単位化するための授業科目。30回相当分の科目。	授業の到達目標と達成を目指す能力等については、科目を開設することに案内する。							

(注2) 「インターンシップ (体験型)」は、実習時間数に応じて、1～2単位を修得できる。

(注3) 「インターンシップ (実践学修型)」は、実習時間数に応じて、3単位以上を修得できる。

国際関係学部 カリキュラム・到達目標および学修成果表 [TLO Table] (TLO: Targets and Learning Outcomes) ナンバリング

国際関係学科 専門教育分野

6つの目標：5つの基礎力と国際関係学部のDPで目指す専門的能力

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバー	ワバリゲ	科目種別 講義、演習、実習、PBLなど	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現	⑥専門性と実践力・応用力
						授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	幅広い知識・教養、基礎的学修力・理解力	思考力・分析力・判断力、問題発見・政策策定能力	汎用的能力向上、社会への関心・意欲の向上	自主性・積極性・やりぬく力、自己規律の修得	社会人能力コミュニケーション、チームワーク等	国際社会で活躍するための必要な専門性と実践力・応用力
必修	国際関係学入門	M-IRE203	200	講義	2	国際関係学の全体像を提示し、2年次以降の専門科目履修に際しての学修計画の指針を提供する。	諸国際問題について、基礎的な理解ができ、全体像を把握できるようになる。	◎	○	○			
	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	国際問題に対する多様なアプローチを知ること、国際関係という学びの分野の全体像を把握させる。	国際問題について基礎的な理解をする。次年度以降の専門学修を計画立案する指針を作る。	○	○		◎	◎	○
	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	学部の専門分野から選択し、その研究に必要な基礎知識と実践方法を少人数クラスで徹底して学ぶ。	専門研究の必修スキルである読解・調査・発表・討論等の能力を身につけ、さらなる学修の準備をする。	○	○	○	◎	◎	◎
	卒業研究	M-SEM401	400	PBL	4	基礎演習での学修を踏まえ、さらに各専門分野についての知見と実践を深める。	高度な専門性を有する分野について、研究発表や論文執筆などの実践的な能力を身につける。	○	○	○	◎	○	◎
① 戦争と平和	国際政治学	M-POL201	200	講義	4	学生自ら選択したテーマについて、研究手順に従って論文を執筆する。また論考の独自性も目指す。	論文執筆に必要な水準を満たすこと。研究倫理の尊重。そして完成まで根気よく取り組む力をつける。	◎	○	○			
	国際経済学	M-ECN210	200	講義	4	国際経済の様々なトピック、主要な論点を経済学の力を借りて解き明かす。	国際経済の問題解決に向けて原因、影響、対応の視点からアプローチする習慣を身につける。	◎	○	○			
	国際法	M-LAW201	200	講義	4	国際社会で生じる具体的紛争に触れながら、解決の基礎となる国際法を学び現状と課題を考察する。	国際法の基礎概念を身につけるとともに、それをを用いて国際問題を法的に考察する力を身につける。	◎	○	○			
	政治思想	M-POL311	300	講義	4	現代日本が経験しつつある様々な「社会変動」を考究し、現実を拡張する表象装置という視点から「権力」を分析し直す。	現在生じている生活・政治・経済の諸空間の変容を歴史的・理論的に眺望する。	○	◎	○			
	国際政治史	M-POL302	300	講義	4	米ソ冷戦構造が国際社会にさまざまな影響を及ぼしていく過程をその歴史的出来事を検証する。	ナショナリズムや資本主義、社会主義、宗教などについて歴史的出来事を検証する中で理解する。	○	◎	○			
	ナショナリズム論	M-POL304	300	講義	4	ナショナリズムという問題を、理論的アプローチ、実証的・事例的アプローチの両面から検討する。	ナショナリズムの観点から歴史や現代世界が正しく理解できるようになる。	○	◎	○			
	軍縮安全保障論	M-POL301	300	講義	4	日本への原爆投下を起点に「核のない世界」に向けた軍縮と不拡散の方策と課題を探る。	冷戦期と冷戦後において軍縮・不拡散問題がどのように変化してきたのか理解し大筋を説明できる。	○	◎	○			
	国際金融論	M-ECN316	300	講義	4	グローバルな金融現象の理解。国際金融現象の背景としての国際政治経済システムを理解する。	グローバル化の中の金融現象を、国際政治経済学的視点から理解し、実証的に分析する。	○	◎	○			
	比較政治学	M-POL309	300	講義	4	通常の歴史に空間概念(地政学の視点)を取り入れ、因果関係の説明に力点を置く。	歴史的事象を時系列で整理するのではなく、因果関係の連鎖として考える思考法を身につける。	○	◎	○			
	比較憲法論	M-LAW309	300	講義	4	近代憲法に共通する要素のうち、統治機構に関して、各国憲法の特徴を比較しながら解説する。	近代に発達した統治制度の特徴と権力の制限や民主主義の意義について理解できるようになる。	○	◎	○			
② DP	国際ボランティア論	M-IRE205	200	講義	4	途上国の人たちと国際ボランティアへの道を加えその意味について理解する。	NGOとは何か、なぜ必要とされてきているのか、市民による活動の内容とその意味を理解する。	◎	○	○			
	国際援助技術論	M-IRE201	200	講義	4	国際援助の役割や方法は近年大きく変わってきており、新たな援助の形を理解する。	国際援助、国際協力の歴史を理解する。援助、協力を担うアクターなどを理解する。	◎	○	○			
	国際理解論	M-IRE206	200	講義	4	私たちの生きる国際社会を検討する。また国際理解論における主要な分析視座について学ぶ。	国際社会における多様な社会や文化の違いについて理解し、基本的な分析視座を理解すること	◎	○	○			
	国際開発論	M-IRE202	200	講義	4	世界各国の発展の可能性を考察し、貧困とその拡大、世界経済や政府開発援助の動向も検討する。	グローバル化の中で経済発展の恩恵が及ばない場面の増加状況を知り、その対応策を考察する。	◎	○	○			
	国際組織論	M-IRE308	300	講義	4	分権的国際社会がなぜ協力を欲し、いかに組織化を進めてきたかについて、国際問題を検討する。	国際社会の制度的枠組み、とくに国際連合の構造を理解して、国際協力の意義と限界を理解する。	○	◎	○			
	国際統合論	M-IRE309	300	講義	4	世界各地の地域統合現象を比較統合論的に考察し、とくに東アジア統合の必要性と可能性を分析する。	戦後、統合の動きが活発化した歴史的背景を理解。地域共同体を中心として統合の現状を把握。	○	◎	○			

学科間共通専門分野

6つの目標：5つの基礎力と国際関係学部で目指す専門的能力

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバー	ナバレッジ	科目種別 講義、演習、実習、PBLなど	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現	⑥専門性と実践力・応用力
						授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	幅広い知識・教養、基礎的学修力・理解力	思考力・分析力・判断力、問題発見・政策策定能力	汎用的能力向上、社会への関心・意欲の向上	自主性・積極性・やりぬく力、自己規律の修得	社会人能力：コミュニケーション、チームワーク等	国際社会で活躍するため必要な専門性と実践力・応用力
学科間共通専門分野 ブ(1)特別プログラム教育	国際教育プログラムⅠ	M-ISP203	200	実習	2	インターンシップ、ボランティア、海外フィールドワーク、メディア活動などを課外授業として実践する	様々な現場において学生が主体的に関与行動できるようなノウハウを身につけ、実践によって成果を得る	○	○	○	◎	◎	○
	国際教育プログラムⅡ	M-ISP204	200	実習	2	インターンシップ、ボランティア、海外フィールドワーク、メディア活動などを課外授業として実践する	様々な現場において学生が主体的に関与行動できるようなノウハウを身につけ、実践によって成果を得る	○	○	○	◎	◎	○
	国際教育プログラムⅢ	M-ISP205	200	実習	2	インターンシップ、ボランティア、海外フィールドワーク、メディア活動などを課外授業として実践する	様々な現場において学生が主体的に関与行動できるようなノウハウを身につけ、実践によって成果を得る	○	○	○	◎	◎	○
	国際関係学特殊講義A	M-IRE303	300	講義	2	流動的な国際関係の動きに応じて、現代的なテーマを設定して講義を行う。	現代的な国際関係の諸問題を客観的に分析し、国際関係のいまを精確に理解すること。	○	◎	○			
	国際関係学特殊講義B	M-IRE304	300	講義	4	流動的な国際関係の動きに応じて、現代的なテーマを設定して講義を行う。	現代的な国際関係の諸問題を客観的に分析し、国際関係のいまを精確に理解すること。	○	◎	○			

◎は、当該科目で特に重視する能力要素など。
○は、当該科目で重視する能力要素など。